



指導室だより

第 46 号

編集・発行 府中市教育委員会学校教育部指導室
〒183-8703 府中市宮西町 2-24
電話 042-335-4063

矢崎小学校では、この教育的意義として、エイズで苦しむ人々の様子や救護を行なう赤十字の活動等について学び、思いやりや共感の心を養うとともに、直接的に自分でできることを考え、実行することにより自発的なボランティア精神を身に付けるよい機会と捉えた。

そして、都内で3校のうちの1校としてジンバブエの子どもたちにプレゼントをする活動に全校児童で参加した。そこで、3月12日、日本赤十字社への贈呈式が矢崎小学校で行われた。始めにみんなのまごユニセフ募金などを行ってきていたが、今回ギフトボックスプログラムという活動に参加した。

このプログラムは、東京都の青少年赤十字メンバー（小学生）が、各々の意思により用意したプレゼントをOVC（エイズで親や家族を失うなど生活環境が困難な状況下で生きる子ども）が日本赤十字社へ贈呈



府中市立矢崎小学校

みんなのまごころ ジンバブエの子どもたちへ届け

府中市立矢崎小学校（叶雅之校長）では、青少年赤十字JR C活動に取り組み、これまでユニセフ募金などを行ってきていたが、今回ギフトボックスプログラムという活動に参加した。

そこで、3月12日、日本赤十字社への贈呈式が矢崎小学校で行われた。始めにみんなのまごユニセフ募金などを行ってきていたが、今回ギフトボックスを作り始めました。

最初は、何を送ったらよいのか、何を入れたら喜んでもらえるのかが思いつきませんでした。何日か考え続けたあとで、児童代表から「心を込めてプレゼントを作りました。私たちの気持ちがジンバブエの子どもたちにも届くように願っています」という挨拶があり、みんなのまごころのこもったプレゼントが日本赤十字社へ贈呈



心を込めてプレゼントを箱詰めする6年生

された。続いて日本赤十字社から今回の活動が認められ、旗とバッジが手渡されて終了した。矢崎小学校六年 細谷 佳之

ある日、担任の先生からアフリカにあるジンバブエという国、日本と比べると、物が豊富にあるわけなく、食料も不足があります。その原因の一つになっているのがエイズです。エイズで亡くなる人が一年間で三百十万人にもなるそうです。

この病気で、大切なお父さんやお母さんを失った子どもたちがたくさんいるにちがいありません。ジンバブエの子どもたちをはじめまし楽しんでもらいたい安な毎日を過ごしていることでしょう。ぼくたちは、そんなジンバブエの子どもたちをボックスでも、ジンバブエに届いたときには、わずかな人にしか渡せません。このギフトボックス運動が矢崎小学校だけではなく、どんどん広がっていってほしいと強く思いました。

喜ばれるのではないかと思いついたのです。

また、勉強に関係するものだけではつまらないので、遊んで楽しい、ぼくが大好きなスリーボールも入れました。楽しんでもらえますようにと、心で思ひながら箱につめました。

「ギフトボックス」
プログラムに参加して

矢崎小学校六年 細谷 佳之

ボックスを赤十字のみなさんに渡しました。積み上がったギフトボックスで舞台を埋め尽くした光景を見て、これで多くの子に渡せるのだと思いました。

でも、こんなに多くのギフトボックスでも、ジンバブエに届いたときには、わずかな人にしか渡せません。このギフトボックス運動が矢崎小学校だけではなく、どんどん広がっていってほしいと強く思いました。

府中市では、特別支援教育を充実するために、教育センターに特別支援相談室を設置し、就学相談、教育・巡回相談、巡回指導の面から推進している。

巡回指導は、小・中学校に在籍するLD・ADHD・高機能自閉症等の発達障害のある、またはあると思われる児童・生徒に対し、その実態に応じた教育的な支援を行うために、昨年度から巡回指導を試行した。

巡回指導を実施するに当たり、学校ならびに保護者から、「特別支援巡回指導派遣要請書」、「巡回指導同意書」、「対象児の実態に基づいた個別指導計画」をそろえ、教育委員会に申請をするところとした。学校の要請に対し、巡回指導員の担当校を決め、週1回、学校に行くことにした。

巡回指導員は指導の様子を毎回記録し、一学期末や夏季休業中に、担任やコーディネーターと、児童・生徒の実態について、個に応じた指導を充実することを目的とするものである。

1 はじめに

巡回指導開始に当たって

巡回指導員は、職員会議やPTA総会などで教職員や保護者への理解を促すように働きかけた。教育委員会は、学校からの要望を受け、広報を活用し、地域住民へのPRをした。

巡回指導の実際

平成18年度巡回指導の実際

平成19年3月現在

巡回指導員派遣校	小学校	17校	中学校	1校
巡回指導対象児	小学校	35名	中学校	2名
指導方法	小学校	授業における指導の補助 個別指導 個別指導	19名 1時間 2時間	6名 6名
	中学校	個別指導	2時間	
学年別人数	小学校	1年10名 4年5名	2年4名 5年6名	3年8名 6年2名
	中学校	2年2名		

特別支援相談室より ③

昨年度の巡回指導を振り返って

巡回指導員
藤井 紀



平成19年度 巡回指導員

学校からのお問い合わせを受け、広報を活用し、地域住民へのPRをした。

3 巡回指導の現状

スタートの年として、学校での巡回指導の認識を深めるために、「特別支援巡回指導派遣要請書」により、学校から申請があつた場合、隨時受け、巡回指導を行つた。保護者の同意書が出た時、授業における対象児への指導の補助や個別指導を行つた。

巡回指導の実際をまとめ、学校においても話し合つた。三学期には、継続して、様々な場面での指導の支援を試みた。下記の表は、巡回指導の対象児・生徒の実態とその指導方法を数値で表わしたものである。

4 今年度の巡回指導の課題

今年は、特別支援教育の元年である。学校が特別支援教育の充実に向けて、直面する課題に積極的に取り組まれることを期待している。そのため、巡回指導員として、よりよい方向を見つけ出す手助けに努めたい。

学校で巡回指導の理解を図るために、その巡回指導の内容を説明し、学校の状況について話し合いの場をもつた。

担任との共通理解を図り、指導内容・方法を話し合つた。生活指導連絡会で教職員と対象児の実態についての共通理解とそのもつた。

児童・生徒の変容から、巡回指導の成果を総合的に評価していると考へていている。

「学ぶ」とに楽しみを感じることができる学校」とは、生徒がどのようなときに感じるのか考えてみた。それは、①授業が分かりやすい。②先生と共に感じ親しみやすい。③授業が樂しく面白い。④教材や指導方法が工夫されて興味をひく。⑤生徒の自發性を涵養する指導が展開されている。⑥授業者の情熱・誠意を感じる授業となっている、

わが校の特色ある教育 NO. 12

学校自慢

府中市立府中第四中学校
校長 丹代 徹

◆生徒による授業評価で
な取り組みを行っている。
そこで本校では、以下のよ

指導計画が正しいのかを確かめたものである。

そのような気持ちを失わせないためと教科指導の充実のため、本校では、一人年間2回の研究授業を行うようしている

◆朝読書の実施

<p>そこで本校では、以下のように な取り組みを行っている。</p> <p>◆生徒による授業評価で 指導法を確かめる</p> <p>教職員の授業は、生徒の視点 に立ち、どの程度「わかる授業」 を行っているのかを知るために 平成17年度より生徒による授業 評価を行っている。①わかる授 業とは、どんなことが大切だと 思いますか？②黒板の字や、教 え方を工夫している授業は？③ 重要なポイントがよくわかる授 業は？④わかりやすく、ていね いに説明してくれる授業は？ など9項目の必要と思われるも のをあげて評価させ、その結果 を全教員に配付し、低く評価さ れている項目などについて考え てもらうことがねらいである。 これを行うことにより教員の 中から、「私の声は小さい」と評価 されているので、もう少し大き い声を出さなければ」「板書は気 をつけているが、他の先生の方 が評価が良いので見に行かなけ れば」など、生徒による授業評 価を教員同士が意識し始め、授 業改善につながっている。</p> <p>◆研究授業で指導法を確かめる</p> <p>「授業は教師の命である」、教 員になり立てる頃は、よく研究 授業を行い、自分の頭で考えた うにもなってきている。</p>	<p>そこで本校では、以下のように な取り組みを行っている。</p> <p>◆生徒による授業評価で 指導法を確かめる</p> <p>教職員の授業は、生徒の視点 に立ち、どの程度「わかる授業」 を行っているのかを知るために 平成17年度より生徒による授業 評価を行っている。①わかる授 業とは、どんなことが大切だと 思いますか？②黒板の字や、教 え方を工夫している授業は？③ 重要なポイントがよくわかる授 業は？④わかりやすく、ていね いに説明してくれる授業は？ など9項目の必要と思われるも のをあげて評価させ、その結果 を全教員に配付し、低く評価さ れている項目などについて考え てもらうことがねらいである。 これを行うことにより教員の 中から、「私の声は小さい」と評価 されているので、もう少し大き い声を出さなければ」「板書は気 をつけているが、他の先生の方 が評価が良いので見に行かなけ れば」など、生徒による授業評 価を教員同士が意識し始め、授 業改善につながっている。</p> <p>◆研究授業で指導法を確かめる</p> <p>「授業は教師の命である」、教 員になり立てる頃は、よく研究 授業を行い、自分の頭で考えた うにもなってきている。</p>	<p>そこで本校では、一人年間2回の 研究授業を行っている。</p> <p>講師には外部の方を依頼し、指 導案の指導から授業の流れや發 問、指導法などをアドバイスし てもらい「わかる授業」の指導 法の授業改善につなげるよう している。</p> <p>また、中学校では教科担任制 ということもあり他の教科の研 究授業の場合、あまり見に行く ことがないのが現状である。そ こで昨年度から授業観察を行っ た教科の中から教員を指名し、 放課後、研究授業を行う生徒だ け残し「見合う授業」というこ とを目標に4教科で実施した。</p> <p>当日の授業は、生徒とコミュニ ケーションを取りながらテンポ 良く進めていく授業や途中に觀 点別テストなどを組み込みなが ら授業の流れがよく工夫されて いた。</p> <p>教科指導を参観した教員は 「自分の教科でも応用できるも のが沢山あった」「もう少し自分 の授業を工夫しなければならな い」などの会話が職員室で話さ れるようになってきた。さらに、 教科が違うが授業を見に行くよ</p>	<p>たものである。</p> <p>そのような気持ちを失わせな いためと教科指導の充実のため に、本校では、一人年間2回の 研究授業を行っている。</p> <p>講師には外部の方を依頼し、指 導案の指導から授業の流れや發 問、指導法などをアドバイスし てもらい「わかる授業」の指導 法の授業改善につなげるよう している。</p> <p>また、中学校では教科担任制 ということもあり他の教科の研 究授業の場合、あまり見に行く ことがないのが現状である。そ こで昨年度から授業観察を行っ た教科の中から教員を指名し、 放課後、研究授業を行う生徒だ け残し「見合う授業」というこ とを目標に4教科で実施した。</p> <p>当日の授業は、生徒とコミュニ ケーションを取りながらテンポ 良く進めていく授業や途中に觀 点別テストなどを組み込みなが ら授業の流れがよく工夫されて いた。</p> <p>教科指導を参観した教員は 「自分の教科でも応用できるも のが沢山あった」「もう少し自分 の授業を工夫しなければならな い」などの会話が職員室で話さ れるようになってきた。さらに、 教科が違うが授業を見に行くよ</p>	<p>たものである。</p> <p>そのような気持ちを失わせな いためと教科指導の充実のため に、本校では、一人年間2回の 研究授業を行っている。</p> <p>講師には外部の方を依頼し、指 導案の指導から授業の流れや發 問、指導法などをアドバイスし てもらい「わかる授業」の指導 法の授業改善につなげるよう している。</p> <p>また、中学校では教科担任制 ということもあり他の教科の研 究授業の場合、あまり見に行く ことがないのが現状である。そ こで昨年度から授業観察を行っ た教科の中から教員を指名し、 放課後、研究授業を行う生徒だ け残し「見合う授業」というこ とを目標に4教科で実施した。</p> <p>当日の授業は、生徒とコミュニ ケーションを取りながらテンポ 良く進めていく授業や途中に觀 点別テストなどを組み込みなが ら授業の流れがよく工夫されて いた。</p> <p>教科指導を参観した教員は 「自分の教科でも応用できるも のが沢山あった」「もう少し自分 の授業を工夫しなければならな い」などの会話が職員室で話さ れるようになってきた。さらに、 教科が違うが授業を見に行くよ</p>
--	--	--	---	---



新規採用教員・転入教員対象に 「市内めぐり研修会」が行われる

指導室では、今年度府中市に転入してきた教員と新規採用教員を対象として、5月8日(火)市内めぐり研修会を実施した。

府中市の教育指針である「府中市学校教育プラン21」には「府中市を愛する、府中の教員を育てよう」ということが提言されている。府中市に愛情や誇りをもつ子どもを育てるには、まず、教員自身が府中市を愛することが大切であり、そのためには、府中市のことによく知ることが必要である。

この研修は、新規採用教員等の初任者等研修会も兼ねており、全員の20名が参加、そして転入教員13名の合計33名で実施した。

バス2台で教育センターを出発し、新緑の美しいけやき並木通り大國魂神社の前を通過しながら、市役所そして中央図書館、給食センター等の説明を聞きながら郷土の森博物館へ到着した。

◆郷土の森博物館
生涯学習課長から博物館内にある遺跡からの出土品、武



府中市美術館

蔵国の国府や甲州街道宿場町、くらやみ祭り等、府中市の歴史を中心に説明を受けた。続いて市民健康センター、浅間山、府中の森芸術劇場、生涯学習センター等を車窓から見学し、府中市美術館に到着した。

◆府中市美術館

学芸員から現在開催中の「子どもの目で見るてんらんかい」のテーマや特徴についてと公開制作室・市民ギャラリー等美術館の特色について説明を受け、その後、実際に館内を見学した。

平成19年度の府中市教育委員会主催の科学教育事業「小・中学生の科学教室」と「子どもサイエンススクール」が5月から始まった。

この事業は、市内在住の児童・生徒に対し科学

教育の振興を図ることを

趣旨とし、実験・観察を

通して科学的な思考力や

創造する能力を育成する

ことをねらいとしている。

★「小学生科学教室」

は、教育センター科学実験室

を主教室として、野外観

察を含め年10回実施する。

対象は5・6年生約50名。

★「中学生科学教室」

は、教育センター科学実験室

を主教室として、野外観

察や見学を含め年10回実

施する。対象は2年生約

30名。特別研修生は3年

生対象で10回実施予定。

★「子どもサイエンスス

クール」は、小学校4・5・

6年生約30名が対象で年

10回実施する。そのうち

2回は、「親子サイエンス

スクール」として行う。

小学生科学教室

回	日程	内 容
1	5/12	郷土の森の自然 (郷土の森博物館)
2	6/2	多摩川の事前学習Ⅰ
3	6/23	多摩川の自然観察Ⅰ
4	7/7	雑木林での観察 (多摩動物公園)
5	9/8	多摩川の事前学習Ⅱ
6	9/22	多摩川の自然観察Ⅱ
7	10/20	ほ乳動物の動きと体 (多摩動物公園)
8	11/10	動物解説員実習 (多摩動物公園)
9	1/19	国立科学博物館での 探究学習
10	2/9	冬鳥の観察 (郷土の森博物館)

中学生科学教室

回	日程	内 容
1	5/19	振り子の性質
2	6/9	動物の生態観察 (多摩動物公園)
3	7/14	天文学習 (郷土の森博物館)
4	8/4	細胞の観察
5	9/22	化学電池
6	10/13	等速直線運動
7	10/28	自由落下運動
8	11/17	電流と磁界
9	12/8	誘導電流
10	1/12	電磁誘導

子どもサイエンススクール

回	日程	内 容
1	5/26	ガラス細工作りⅠ
2	6/16	ガラス細工作りⅡ (内容はⅠと同じ)
3	6/30	石けん作り
4	7/21	親子サイエンススクール ハンカチ染め
5	8/25	蒸気船作り
6	10/6	金属の性質と電気メッキで飾り作り
7	11/24	べっ甲アメ・カルメ焼き作り
8	12/1	親子サイエンススクール 鉱石ラジオ作り
9	12/15	牛乳パックで年賀ハガキ作り
10	1/26	不思議な色水・炎・カラーキャンドル作り

日曜	研修会・委員会等	会場	研修内容・講師等
1金	食教育推進委員会	教育センター	全体会
4月	特別支援学級代表者会	教育センター	代表者会・分科会
4月	初任者等研修会	生涯学習センター	安全な水泳指導(講義と実技指導)
7木	小学校英語活動推進委員会	教育センター	全体会
8金	ICT活用推進委員会	教育センター	全体会
11月	生活指導主任会	教育センター	全体会(連絡・検討事項)小・中分科会
12火	初任者等研修会	教育センター	学習指導案づくりの理論と実践(講義と演習)
14木	教務主任会	教育センター	全体会(連絡・検討事項)小・中分科会
26火	進路指導主任会	教育センター	全体会(連絡・検討事項)
26火	初任者等研修会	南白糸台小学校	道徳授業の理論と実践(参観・講義)
28木	教育課題検討委員会	教育センター	全体会
29金	人権教育推進委員会	教育センター	講演会「人権教育推進の考え方」

6月研修会・委員会等予定

組みの中、進められているが、授業改善が各校の喫緊の課題として取り上げられ、様々な取り組みの中で、進められているが、根本的な意義や意味を考えさせ、学習習慣や意欲を喚起することによって、取り組んでいく必要がある。

「生きる力」の育成で大切なことは、学校で学んだことが日常生活に生かされ、「生きて働く力」として定着することを考えている。

しかし、結果は必ずしも学校での学習が生活の中に生かされているとはいえないことを示唆している。子どもに「何のために学習するのか」という学習の根本的な意義や意味を考えさせ、学習習慣や意欲を喚起することによって、取り組んでいく必要がある。

ある学校の関係者評価の質問の中に、「あなたは学校で学んだことを家庭の中で生かしていくですか」(お子さんは学校で学んだことを家庭の中で生かしていくですか)というものがあった。

これに対して、子どもの61.6%、保護者の56.9%が「生かしていない」という否定的な回答をしていた。



$$8 + 0.5 \times 2 = 9$$

本当にこれでよいのかと改めて考えさせられた。

過日、ある研究会に参加したとき、講師の方からこんな話を聞いた。

「上記のような小学校4年生の問題をあなたならどう教えますか?」



ところが、このような教え方では正答率は62.5%だった。そうである。

ではどうしますか。「水槽に8㍑の水が入っています。0.5㍑の水を2杯加えました。全部で何㍑になりますか?」正答率は73.4%に上昇したとのこと。

私は小学校で算数の授業を行った経験は、教育実習以来、二十数年来一度もないが、おそらく、「かけ算を先にやって、その後に足し算をしなさい」というように計算の順序を説明するだろうと考えた。



算数の計算という形式的な操作の授業であっても、その中で具体的な生活のイメージに結びつけることで、子どもの理解は深められるというものであった。まさに生活の中にある算数、学んだことを生活に生かしていくためのヒントがそこには隠れているように感じた。

「教育は未来志向であり、行き着くところは教師論である」これはある方のことばの受け売りではあるが、教育の本質論を示したものと受け止めている。

日々の教育指導の中で、一人一人の先生がどのように子どもを伸ばすのかを真剣に考え、授業を工夫していく地道な努力こそが、「世界にはばたく府中の育成につながっていく。」

(統括指導主事 花田茂)

昨日の6月に食育基本法が制定された。その前文を改めて読む。「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である。今、改めて、食育を生きるまでの基本であって、知識、德育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている」と食育の重要性を説く◆志賀直哉の小説『小僧の神様』の中に、往復の電車貨物を貰って京橋へ使いに行かされた秤屋に奉公する仙吉が、番頭たちが話していた鮭が食べたくて片道を歩いて四銭をうかし、鮭屋に入った。食べようとしたら「一つ六銭だよ」と言われ、店を飛び出すという場面がある◆飽食の時代に生きる子どもたちには、そのありつけない無念さは到底分からぬだろうが、こうした時代があつたことも事実である◆6~7月は暑くなるためか給食の残さいの量も多くなるという。十分に体を動かし、しっかり食べて健全な心と体をはぐくんでほしい。(横山洋)

あとがき